

地域に根ざした貢献活動

地域社会と共生する企業でありつづけるために、
地域社会の一員としての取り組みやコミュニケーションを大切にしています。

工場周辺地域との共生

サントリーグループの主要工場地域では、自治会を通じた地域の住民の皆様との対話や、一部の工場内に造成した公園と遊歩道を地域の皆様に開放するなど、地域交流の場の提供に努めています。また、新たに工場を建設する際には、第三者による環境影響評価などを行い、周辺住民の皆様にご理解いただくとともに、生物多様性の保全や工場内の緑化など自然との共生に努めています。また、全国の工場や事業所では、周辺の清掃をはじめ、自治体が開催するごみ拾いへの参加など、環境美化にも取り組んでいます。そのほか、工場では、親子見学会などを行い、楽しみながら学ぶコミュニケーション活動を継続しています。

●工場見学を通じてお客様と対話

おいしさや安全へのこだわり、自然環境への配慮など、商品を通じた取り組みをより多くの方に知っていただくため、ビール工場、ウイスキー蒸溜所、ワイナリー、天然水工場で、工場見学を実施しています。



サントリープロダクツ(株)天然水南アルプス白州工場の工場見学

災害被災地への支援

サントリーグループでは、国内外の大規模な災害時に災害義捐金の寄付・飲料水の提供など、被災者および被災地の支援を行っています。

また、サントリーフーズ(株)では、災害などの緊急時に無料で提供する「緊急時飲料提供ベンダー」を行政施設や病院などを中心に約4,200台を設置。今後も、設置台数の増加に努めます。



緊急時飲料提供ベンダー

●主な義捐金の拠出

2011

- 東日本大震災
岩手県・宮城県・福島県に合計3億円寄付
※追加支援策は下に記載
- 2011ニュージーランド南島大地震
ニュージーランド赤十字社に620万円寄付
- 豪州・クイーンズランド州における洪水被害
クイーンズランド州に800万円寄付

2010

- 2010ニュージーランド南島大地震
Cristchurch earthquake appeal fundに325万円寄付
- 宮崎県における口蹄疫被害
社会福祉法人宮崎県共同募金会に1,000万円寄付
- チリ大地震
チリ大使館に500万円寄付
- ハイチ大地震
日本赤十字社に1,000万円寄付

東日本大震災への対応

2011年3月に発生した東日本大震災においては、サントリーホールディングス(株)は、被災地における救出活動および復興活動等に役立てていただくため、義捐金3億円を岩手県、宮城県、福島県に寄付するとともに、救援物資としてミネラルウォーター「サントリー天然水(南アルプス)」550ml ペットボトル合計100万本を提供しました。

また、力強い再生を実現していくためには、被災地の復興に加え、産業の再生支援や新たな起業、さらにはこどもたちへの教育支援など、未来の希望に貢献できる分野での支援も重要と考え、追加の支援策として清涼飲料・ビール類(ビール・発泡酒・新ジャンル)の缶製品の売上本数1本につき1円を義捐金として積み立て、合計約40億円※を拠出することを決定しました。今後も被災地の皆様の支援に全力で取り組んでまいります。

※2010年販売実績に基づく当社試算

文化・社会貢献活動

創業から現在まで変わることなく、「利益三分主義」の精神に基づき、豊かな生活文化の実現に寄与する文化・社会貢献活動に取り組んでいます。

継続的な社会貢献

創業者・鳥井信治郎は「利益三分主義」を唱え、事業の利益を社会に還元することを信念としていました。特に、恵まれない境遇の人たちへの慈善活動、社会福祉活動に積極的に取り組みました。社会のニーズの変化を見据えながら、現在に至るまで社会貢献活動に継続して取り組んでいます。

● 社会福祉法人「邦寿会」を通じた支援

1921年に設立した無料診療院に端を発する「邦寿会」は、2011年に創設90周年を迎えました。現在は社会福祉法人として、「つばみ保育園」(1975年開設)や、特別養護老人ホーム「高殿苑」(1974年開設)、軽費老人ホーム「天野苑」(1976年開設)、総合福祉施設「どうみょうじ高殿苑」(2008年開設)を運営しています。

近年では、時代のニーズに応えた「訪問介護(ヘルパー)」「通所介護(デイサービス)」「居宅介護支援(ケアプラン)」などの在宅介護サービスも提供しています。



邦寿会が運営する「どうみょうじ高殿苑」



「高殿苑」と「つばみ保育園」での交流

豊かな生活文化に貢献

サントリーグループは、人々のより豊かな生活文化への貢献をめざしてきました。その第一歩として1961年に開館した「サントリー美術館」は、2011年に50周年を迎え、また、1986年に開館した「サントリーホール」は25周年を迎えます。これら2つの施設の運営をはじめ、さまざまな文化支援に力を注いできたサントリーグループ。現在は、文化施設運営のほかにも、芸術文化・学術支援、スポーツ支援など、多彩な活動を展開しています。

● サントリーホール

1986年に、東京初のコンサート専用ホールとして開館。25周年を機に、「心かよう 心うごく」のメッセージのもと、世界の一流演奏家による公演や多彩な自主企画をさらに充実させていきます。



● 公益財団法人 サントリー芸術財団

サントリー美術館やサントリー音楽財団で展開してきた美術・音楽各分野の活動の相乗効果を図り、新たな社会貢献をめざし、2009年に設立しました。

○ サントリー美術館

「生活の中の美」を基本理念に1961年に開館し、2011年で50周年。「美を結ぶ。美をひらく。」を掲げ、国宝・重要文化財などの収蔵品をはじめとした展覧会を開催しています。



○ 音楽事業

1969年、日本の洋楽発展と音楽文化向上をめざして設立。サントリー音楽賞、佐治敬三賞、芥川作曲賞などを設け、クラシック音楽の振興や新進作家の育成を支援しています。



● 公益財団法人 サントリー文化財団

1979年に設立。サントリー学芸賞、サントリー地域文化賞などを設け、国際的・学際的な研究の助成、優れた人材の育成・援助を行っています。



● 公益財団法人 サントリー生命科学財団

1946年に設立した食品化学研究所を前身に、1979年にサントリー生物有機化学研究所を設立。2011年1月に改称し、公益財団法人に移行。研究活動のほか、奨励事業も行っています。

「夢」と「感動」を伝えるスポーツ活動

企業スポーツへの参加やスポーツ振興のための活動を支援しています。チーム活動では、ラグビーとバレーボールの自社チームを組織し、リーグ戦に参加しています。両チームとも次世代への普及活動を重視し、オフシーズンを中心に、ラグビー教室・バレーボール教

室を計画的に開催するなど、地域に根ざした活動を展開しています。



ラグビーチーム「サンゴリアス」



バレーボールチーム「サンバース」

次世代育成支援を強化

サントリーグループの文化施設やスポーツチームでは、子どもたちがスポーツ・音楽・美術・環境などのさまざまな分野で、本物、一流に触れる機会を提供しています。少子化が進み、次世代育成の重要性が高まるなか、これらの活動を強化し、子どもたちの豊かな個性・人格形成を支援しています。

サントリーホールでは、米国カーネギーホールとの連携プログラム「カーネギーキッズ at サントリーホール」を開催しています。このプログラムでは、3～6歳の子どもたちが、カーペットに自由にすわり、一流演奏家が奏でる音楽を間近で聴くことができます。



カーネギーキッズ2010

また、サントリー美術館では、お客様と美術館をつなぐ交流の場として「エデュケーション・プログラム」を実施、展覧会ごとに講演会やワークショップなどのさまざまなプログラムを行っています。そのほか、ラグビー・バレーボールチームによるスポーツ指導も積極的に行っています。



「日本文化の伝承プログラム」での親子ワークショップ

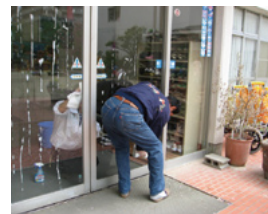


ラグビー教室

社員の社会貢献活動を支援

2010年は11名の社員が「ボランティア休暇制度」を利用し、邦寿会の運営する老人ホームなどでのボランティア活動に参加しました。また、社会福祉・環境保全・国際交流の分野で社員が自主的に活動している非営利団体に、備品や機材などの購入資金を援助する「ボランティア活動支援制度」も設けています。

このほか、サントリーグループが展開するさまざまな活動への参加を呼びかけ、社会貢献活動に対する社員への啓発を行っています。



「邦寿会」でのボランティア活動



「天野苑」での園芸ボランティア

公園の緑化を支援—サントリーフラワーズ(株)

サントリーフラワーズ(株)は、地域に「花のある暮らし」を多くの人々に提供するために、各種公共公園に花苗を提供し、植栽による緑化活動に協力しています。



公園の緑化

霧多布湿原トラストを支援—ハーゲンダッツ ジャパン(株)

原料の牛乳の生産地である根釧地区において、2007年より厚岸郡浜中町の霧多布湿原トラストへの支援を行っています。資金面の支援に加え、毎年10月には、当社社員が地元の方々とともに、湿原の景観保全のボランティア活動を行っています。



霧多布湿原トラストの支援

海外事業会社の活動



メキシコ

Suntory Mexicana, S.A.DE.C.V.
サントリーメヒカーナ

工場施設見学の受け入れ

サントリーメヒカーナでは、地元大学生の工場見学の受け入れを行うなど地域社会とのコミュニケーションを積極的に推進し、サントリーグループのメキシコにおける事業に対する理解を深めていただいています。



地元大学生工場訪問



タイ

Tipco F&B Co., Ltd.
ティプロF&B

地域社会にさまざまな形で貢献

2008年から、赤十字社へ献血者用の飲料を提供しています。そのほか、工場周辺地域の学校への奨学金支援や、さまざまなプログラムを通じた障がいのある子どもたちの支援、病院への医療機器提供、地域での宗教的な儀式への参加などの活動も行っています。



献血活動における飲料の提供



フランス

Louis Royer S.A.S
ルイロワイエ

地域の文化活動を支援

ルイロワイエでは、「コニャックマラソン」や「ラ・ルー・デ・トノー」(昔のコニャック樽輸送再現の祭)、「ラ・パール・デ・ザンジュ」(チャリティーオークション)、「コニャック・ブルース・パッション・フェスティバル」(音楽祭)といった多くの地域の文化活動を支援しています。



伝統的な樽づくりのデモンストレーション



フランス

Orangina Schweppes Group
オランジーナ・シュウェップス・グループ

EPODEプログラムの支援

子どもの肥満を防止する「EPODEプログラム」を支援しています。EPODEは、地域レベルで健康的な食習慣を身につけ、活動的なライフスタイルを推進する「肥満防止プログラム」を基盤にした団体です。プログラムでは各家庭における課題の特定や食生活改善のための指導を行っています。



EPODEプログラム



シンガポール

Cerebos Pacific Ltd.
セレボス・パシフィック

ガラスびんリサイクルで貧困家庭を支援

2010年、主力商品「BRAND'S」175周年記念活動のひとつとして、「Hope in A Bottle」プロジェクトを実施しました。これは、タイのパトゥムターニーと中国の広東省の貧困家庭のために、「BRAND'S」のガラス容器を建築材料として再生し、家を建てるものです。各国の従業員がボランティアとして参加し、建設作業を手伝いました。



「Hope in a Bottle」プロジェクト



フランス

Château Lagrange S.A.S.
シャトー ラグランジュ

イベントを通じて地域社会と交流

慈善オークションへの参加や、地元のスポーツイベント・団体への賞品の寄付を通じて、地域社会との交流を図っています。また、シャトー ラグランジュは、毎年約8,000名のランナーが参加する世界的に有名なメドックマラソンに、給水所を設置するなどの協力をしています。2010年も、9月に第26回となるメドックマラソンに参加しました。



メドックマラソン